

1 学年 第1学年

2 教材 最新 現代社会

3 単元名 テーマ学習：18歳選挙権を考える

4 単元目標

公職選挙法改正が間近に迫り、高校生が選挙に参加することが来年夏の参議院選挙で実現するかもしれない。「高校生だから選挙は関係ない」という意識を払拭させ、参政権を持った公民としての自覚を持たせる。

5 単元指導計画

- (1) 青年期とは何か
- (2) 青年期と自己実現－職業と社会参加
- (3) 社会権と人権を確保するための権利
- (4) 選挙制度とその課題
- (5) 18歳選挙権と大人（本時）

・各単元において実施する上記4つのうち、いくつかの学習が終了した時点で、本時のテーマ学習が可能と考える。

6 本時の評価計画（評価規準）

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人生における青年期の時期に関心を持ち、社会と積極的に関わろうとしている。公職選挙法改正問題を自分自身の問題として関心を持っている。	高校生は政治とどのように関わられるのかを考え、18歳選挙権の賛否について自分の意見を表明する。 成人年齢統一化の是非を考え、自分の意見を表明する。	具体的な資料を活用し、選挙制度や選挙結果について問題点や課題を発見する。	選挙権年齢の世界の趨勢と10代の政治参画の意義を理解する。 法律によって成人として扱う年齢が異なることを理解する。

7 本時の目標

- (1) 18歳選挙権がどのような意味を持っているか、またそれにともなう責任について理解する。
- (2) 18歳で選挙権が認められたとしても、民法の成人年齢は20歳のままという事実について考えさせる。

8 本時の学習展開

段階 (配当時間)	学習内容・学習活動	学習活動の支援・指導上の留意点 観点別評価
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2月に中学生も投票できる住民投票があったのを知っていますか。ところで、皆は選挙に関心がありますか」</li> <li>・「選挙権を行使できる年齢になったら選挙に行きますか。プリントに自分の行動と考えを記入してください」</li> <li>・「行く人と行かない人、それぞれ教室の両側に分かれて移動してください」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心がない」ことを否定しない</li> <li>・「AKB総選挙なら」などの反応があれば、展開につなげやすい 【関心・意欲・態度】</li> <li>・作業に入る前に、記入できたら席を立て2つのグループに分かれることを示唆する</li> <li>・自分の立つ位置で、自分の考えを皆の前で示す 【思考・判断・表現】</li> </ul>

<p>展 開 (40分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「それぞれの立場から、一人ずつ理由を説明してもらいます」</li> <li>・「公職選挙法が今国会で改正される可能性があるのを知っていますか」</li> <li>・「18歳で認められるようになったら、選挙に行きますか」</li> <li>・今日のキーワードは「18歳選挙権」と「大人」です</li> <li>・「18歳で投票できる国はどれくらいあると思いますか」</li> <li>・「18歳と19歳が加わることに意味はあるのでしょうか」</li> <li>・「18歳で選挙権が認められることを、10代の若者はどう思っているのでしょうか」</li> <li>・「プリントの( )の中に、○か×を記入しよう」</li> <li>・「10代の選挙参加がどのような意味を持つてくるのか、最近の選挙結果から見みましょう」</li> <li>・「20代の意見は少数意見として無視されてしまうという危険があるとは思いませんか」</li> <li>・「若者は選挙に関心がないのでしょうか」</li> <li>・「AKB総選挙の有効投票総数、269万票はすごいと思いませんか」</li> <li>・「10代で選挙について、真剣に考えている人もいます」</li> <li>・「投票の義務化という考えをどう思いますか」</li> <li>・「外国や日本国内でも、若者が政治を身近に感じられるような取組がなされています」</li> <li>・「今日のキーワードの2つめは“大人”でした。法律によって、大人として扱う年齢が異なっているのを知っていますか。あなたの考えを記入してください」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ意見でも理由が異なり、自分と反対の立場の意見の理由も知る</li> <li>・なぜ、18歳から認めようとしているのかを考えさせる 【関心・意欲・態度】</li> <li>・考えが変わった生徒は反対側に移動させ、誰がどちらにいるかを確認させた後、自席に戻す 【思考・判断・表現】</li> <li>・世界の国に目を向けさせ、多くが18歳以上であることを理解させる 【関心・意欲・態度】【知識・理解】</li> <li>・人口数に着目し、大きな力となることに気づかせる【関心・意欲・態度】</li> <li>・NHK ネットクラブ・アンケートの結果を示す 【関心・意欲・態度】</li> <li>・論理的に考えて、記入するように促す 【思考・判断・表現】</li> <li>・表とグラフを活用し、現実認識をさせ、さらに課題を発見させる【技能】</li> <li>・年代が下がるにつれて、投票率が下がる現状の問題点に気づかせる 【思考・判断・表現】</li> <li>・AKB 総選挙のデータから、若者も選挙に関心を持っていることに気づかせる</li> <li>・政治家を振り向かせることができる可能性に気づかせる 【知識・理解】</li> <li>・真剣に考える故に、反対意見があることに着目させる 【知識・理解】</li> <li>・権利を行使するという観点から考えさせ、独裁国家の状況も考えさせる 【思考・判断・表現】</li> <li>・事例を紹介し、選挙だけでなく、政治参加の機会が身近にもあることに気づかせる 【知識・理解】</li> <li>・「18歳で選挙権は認めるが、民法ではまだ子どもの扱い」を当然と考えるか、不自然と考えるか 【思考・判断・表現】</li> </ul>
<p>ま と め (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今日の内容をもう一度思い出して、18歳になったら選挙に行くかどうかの態度を再び表明してください」</li> <li>・「最後に、自分の反対側にいる人の理由を考えてみてください」</li> <li>・「AKB 総選挙からもわかるように、よい意味で選挙はお祭りです。みんな、選挙に行きましょう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう一度、「選挙に行く」「選挙に行かない」のグループに分かれる 【思考・判断・表現】</li> <li>・自分と異なる考えを持つ人を否定するのではなく、歩み寄る姿勢の重要性に気づかせる 【知識・理解】</li> <li>・行けば投票した人のその後が気になり、政治に関心を持ち続ける契機になることを示唆する 【関心・意欲・態度】</li> </ul>

- 参考資料 : ・『18歳選挙権』オトナへのトビラ TV (NHK)  
・国政選挙の年代別投票率の推移について (総務省)  
・AKB 48 公式サイト <http://www.akb48.co.jp/>

## 9 幸福・正義・公正の観点について

### (1) 幸福

自らが願い、求める社会を実現するために社会と関わる方法のひとつとして選挙がある。

### (2) 正義

自分と異なった正義感を持っている人と自由に論じることで、対立を調整し新たな正義の秩序を作ることができる。

### (3) 公正

すべての人を平等に扱うのが正義であるが、選挙権を20歳で区別している現在の日本を公正な社会とすることができるのか。

新しい制度を人々が受容する条件が成り立つために、考えなければならないことはなにか。

## 10 その他

- (1) この授業は公職選挙法改正前(2014年度)に実施したものである。18歳選挙権が実現した場合には、修正が必要になる。

本実践においては、授業最後の2度目の質問「選挙に行きますか」で「行く」に意見を変えたものが、実施者の期待以上に多かった。これは、選挙などの方法でなんらかの情報発信をしていかない限り、自分たちの望む社会は実現しないという若干の危機意識のようなものがめばえたからであろう。

また、選挙に行くのは「最初は、ある意味のお祭り気分でもよいのだ」という呼びかけに反応した生徒もいる。また、「行く、行かないのどちらでもない」と明言した生徒もいた。“誘われれば行くし、そうでなければ行かない”との理由だが、実はこのような考えの若者が相当数いるのではないか。20代で投票に行っている者も、親に誘われたからでなく、自らの意思で投票に行く者が増えてほしい。

- (2) 本時の次の授業に模擬選挙を入れることも可能である。今回の実践では、実際の政党名を伏せて公約を比較検討させた後、自分の望む社会を実現してくれそうな政党を選び投票させた。

# 選挙権とオトナ

no.44

## 1. 選挙に行きますか

(1) 20歳になったら

( ) 行く ( ) 行かない

理由：〔

(2) 公職選挙法が改正されたら

( ) 行く ( ) 行かない

理由：〔

## 2. 投票できる年齢

・ ( ) の国や地域、世界のおよそ ( ) 割が ( ) 歳から

・ ( ) の国は、すべて ( ) 歳から

・ 子どもの権利条約(1989年・国際連合)でも子どもは ( ) 歳未満と定義

## 3. 新しく選挙権を持つかもしれない人たち

(1) 18歳と19歳の人口 - およそ ( ) 万人

= 宮城県の人口より多いが京都府より少ない

\* 人口47位の鳥取県：約57万人 = 柏市+流山市

(2) 大きな力

2013年の参議院選挙比例代表では、およそ110~120万票で一人当選可能だった

→ 240万人だと定員48名中 ( ) 名当選させる可能性あり

## 4. 10代の考え

\* 18歳選挙権に、賛成と思う意見に○、反対と思う意見に×を記入しよう

・ ( ) なぜ、消費税が5%から8%へ?

税金の使われ方が気になる

・ ( ) 自分は未熟

・ (×) 20歳のままでいい

・ (×) 親のお金で生活している

政治などを決めるのは早い

・ ( ? ) どっちでもいい

グラフを挿入

## 5. 2012年の衆議院選挙結果から考える

・ 年代別投票者数と投票率

\* 全国49,214区より188区を抽出したデータ

	有権者数	投票者数	投票率
20代	52,269	19,806	37.89%
60代	73,329	54,949	74.93%

\* さらにグラフ化してみると、何がわかりましたか

①

②

③

## 6. 若者は選挙に関心がない?

・ ( ) 総選挙、( ) の投票

◎なんと、総選挙におよそ269万票が投じられている。

→ 若者が政治に関心を持っては、政治家もこの票数を無視できなくなり、

政治家の目も ( ) に向くようになる

## 7. 10代だって考えている

(1) 賛成

・ 自分たちだって ( ) を持っているし、聞いてほしい (17歳・男子)

・ 政治家が“将来の世代の負担を〜”と言っているが、投票するのは、おじさんおばさん

ただけでは変だ (18歳・女子)

(2) 反対

・ 子どもに選挙権があると、ろくな人に投票しかねない (13歳・女子)

・ 親と同じように一票を持って、( ) が違いすぎる (18歳・女子)

・ 18歳に下げる前に、20歳を越えている人全員への義務化をすべき (16歳・女子)

「NHKネットクラブ・アンケート」より

8. 投票率を上げるために投票の義務化？

- ・オーストラリアは義務化  
行かないとオーストラリア・ドルで20\$ (約 円) の罰金  
だが、選挙は義務でなく ( ) なので、罰金というのはそぐわない？
- ・独裁国家では行かないと反抗していると判断されると  
兵隊がそばでのぞき込んでいる？

9. 若者の政治参加を進める取組

- (1) イギリスのユース議会 (10代の若者)  
若者がかかわる問題に直接発言できる  
・モスキート・デバイスへ厳しい条件をつけた  
①稼働させるのは夜の7～11時で、タイムーをつける  
②周辺に5歳以下の子どもがいないことを確認する  
(2) 川崎市のこども会議 (10～18歳まで)  
希望すれば誰でも参加できる  
・“自分たちが本気で活動し、発言すると自分とその環境がよくなる”と実感する  
・選挙で投票することで“社会を変えられる”という確信を持っていく  
(3) 我孫子市のこども議会 (我孫子第二小学校)  
(4) 選挙出前トーク

選挙がどのように行われるのかの出前授業

など

10. 法律によって異なる大人としての扱い

- ① 18歳で働いて経済的に自立し、納税している若者が3割いるのに、民法の成人年齢はまだ20歳のまま？  
→ 民法で18歳成人の扱いとなると、消費者として契約の主体になり、悪徳商法やマル手商法に巻き込まれる危険性も高くなる？
- ② 少年犯罪の厳罰化を求める動きがあるが、現行の少年法では20歳未満が「少年」。  
18・19歳はまだ更生可能な年齢という意見もある
- ③ 裁判員制度の参加年齢は何歳から？
- ④ ⑤ 酒やタバコを許可してよいのは何歳から？

あなたの考え

① 民法の成人年齢  
( ) 歳：理由 ( )

② 18・19歳の「少年」犯罪の扱い  
( )

③ 裁判員参加年齢  
( ) 歳：理由 ( )

④ 酒の許可年齢  
( ) 歳：理由 ( )

⑤ タバコの許可年齢  
( ) 歳：理由 ( )

11. もう一度確認します。「18歳で選挙権が認められたら、あなたは選挙に行きますか」

( ) 行く ( ) 行かない

理由：{

本日の授業開始時と選挙に対する考えが変わりましたか、変わりましたか、変わりましたか。

その理由を説明してください

( 変わった 変わらない )

理由：

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

## 選挙権とオトナ

18歳は大人？子ども？

## 選挙に行く？

- 面倒くさい。日曜日の昼間だし。
- まだ、19歳だし。行こうとは思わない。
- 周りの20歳以上の人も行ってない。

## 18歳で投票できるところ はあるの？

- 170の国や地域
- 世界のおよそ9割が18歳から
- G8の国はすべて18歳から
- 「子どもの権利条約」(1989年・国連)でも、子どもは18歳未満

## 18歳と19歳って？

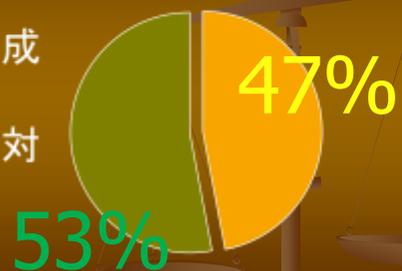
- 18歳と19歳の人口  
= およそ240万人
- 宮城県の人口より多いが京都府より少ない
- 大きな力となる！
- 人口47位の鳥取県
- = およそ「柏市+流山市」の人口

## 大きな力

- 2013年の参議院比例代表  
= およそ110~120万票で一人当選可能
- 240万人だと定員48名のうち、2名を当選させる可能性あり

## 18歳選挙権をどう思う？

- 賛成
- 反対



「NHKネットクラブ・アンケート」より

# 10代の考え

[ ○ ]

- なぜ、消費税が5%から8%へ？
- 税金の使われ方が気になる  
(スーパー勤務 女・18歳)

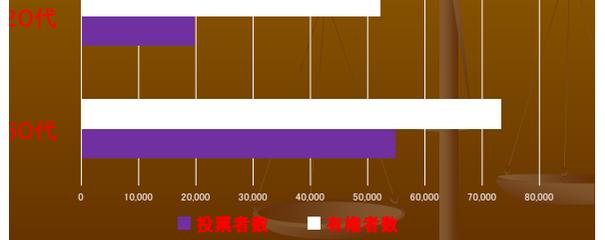
[ × ]

- 自分は未熟だから  
(専門学校生 男・18歳)

# 2012年の衆議院選挙

年代別有権者と投票者数  
(188区の抽出データより)

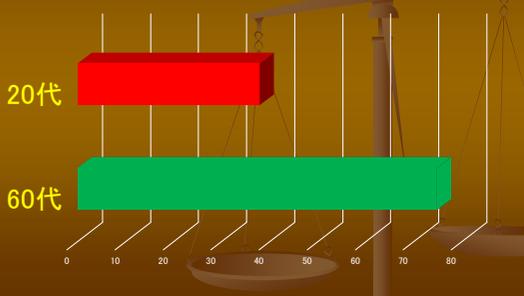
	有権者数	投票者数
20代	52,269	19,806
60代	73,329	54,949



# 2012年の衆議院選挙

## 投票率

全国49,214区より188区を抽出したデータより



# 年代別投票率



60代の意見のほうが政策に反映されやすい？

20代の意見は無視されてしまう？

# 若者は選挙に関心がない？

- AKB総選挙
- 雑誌の読者モデルの投票

## 参考資料

AKB 37thシングル選抜総選挙  
(2014)

有効投票総数 **2,689,427票**

### 第47回衆議院議員総選挙 (2014)

- 最少得票当選者  
丸山穂高(維新・大阪19区)  
56,119票
  - 最多得票落選者  
船橋利実(自民・北海道1区)  
105,918票
  - 最多得票当選者  
小泉進次郎(自民・神奈川11区)  
168,953票
- |                   |          |
|-------------------|----------|
| ■ 第1位: 渡辺麻友(B)    | 159,854票 |
| ■ 第2位: 指原莉乃(H)    | 141,954票 |
| ■ 第3位: 柏木由紀(B/N)  | 104,364票 |
| ■ 第4位: 松井珠理奈(S/K) | 90,910票  |
| ■ 第5位: 松井玲奈(E/乃)  | 69,790票  |
| ■ 第6位: 山本 彩(N/K)  | 67,916票  |
| ■ 第7位: 島崎遥香(A)    | 67,591票  |
| ■ 第8位: 小嶋陽菜(A)    | 62,899票  |
| ■ 第9位: 高橋みなみ(A)   | 57,388票  |

## AKB総選挙のように 投票に行こう!

- 若者が政治に関心を持てば、政治家の目も若者に向くようになる

## 10代だって考えている

### 18歳選挙権に賛成

- 自分たちだって意見を持っているし、聞いてほしい (17歳・男子)
- 政治家が“将来の世代の負担を～”と言っているが、投票するのは、おじさんお婆さんだけでは変だ (18歳・女子)

## 10代だって考えている

### 18歳選挙権に反対

- 子どもに選挙権があると、ろくな人に投票しかねない (13歳・女子)
- 親と同じように一票を持って、重さが違いすぎる (18歳・女子)
- 18歳に下げる前に、20歳を越えている人全員への義務化をすべき (16歳・女子)

## 投票率を上げるために義務化?

- オーストラリアは義務化  
オーストラリア・ドルで**20\$**の罰金
- 独裁国家では、行かないと反抗していると判断される?
- 兵隊がそばで覗き込んでいる?

## 若者の政治参加を進める取組

- イギリスのユース議会(10代の若者)  
若者がかかわる問題に直接発言できる
- 川崎市子ども議会(10~18歳)  
希望すればだれでも参加できる
- 我孫子市のこども議会(我孫子第二小学校)
- 選挙出前トーク  
選挙がどう行われるかの出前授業

## 法律によって異なる扱い

- 18歳で働いて経済的に自立し納税している若者が3割いるが民法の成人年齢は20歳
- 少年犯罪厳罰化の動き
- 裁判員の参加年齢
- 酒やタバコの許可年齢

さあ、あなたは選挙へ  
行きますか？

日本の将来の方向性を決める  
のはあなたたちです